



# マツダ アクセラ スポーツ

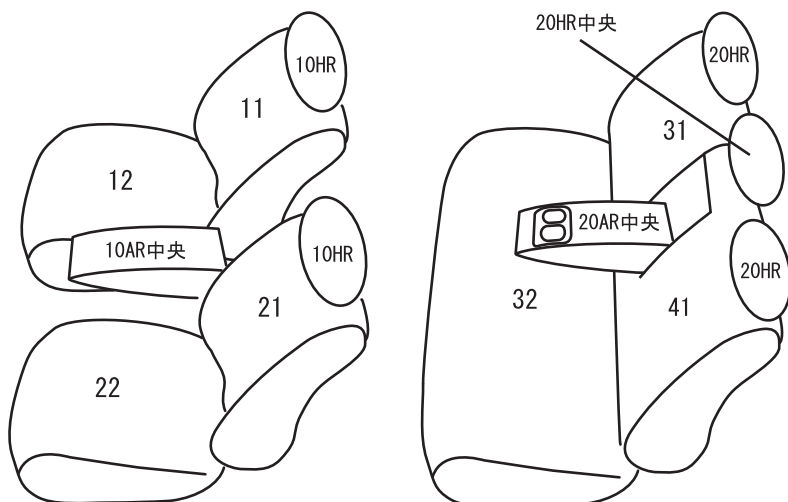
## 専用シートカバー取付説明書

この度は弊社製品をお買い上げ頂きまして、誠に有難うございます。

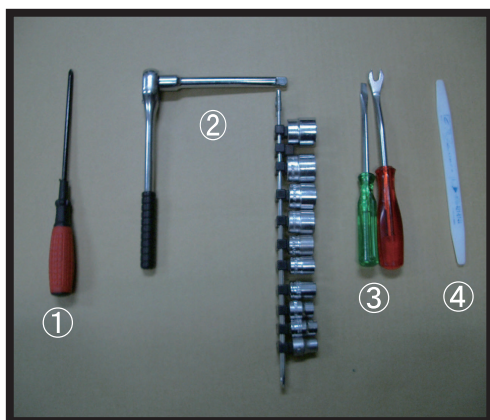
- \* 説明書内にシートカバーの取付・取り扱い・返品等に関する注意事項等が記載されていますので、装着前に必ずお読み下さい。
- \* 本書中の掲載写真はサンプル品を使用しているため製品とデザインは異なります。

0700/0701

# 本製品シート形状とパーツの名称



## 取付必要工具



### 工具名

- ① +ドライバー
- ② ソケットレンチセット
- ③ ードライバーまたは内張り外し
- ④ ヘラ

\*この車種では、①と②の工具を使用します。

\*この車種では、③の工具は使用しません。

## シートカバー装着前に必ずお読みください

- 本製品が届きましたらシートカバーを装着される前に内容物を確認の上、必ずお客様のお車に仮合わせ（シートに装着せずに）して、お客様のシートパターンに合うことをご確認ください。シートカバーの各部品がどの位置かが分かるように、番号の入ったタグが商品の裏側に付いています。仮合わせの時点で、製品に何らかの支障があった場合は、お買い上げいただいた販売店、または弊社までご連絡ください。  
事前に連絡が無く装着された後での、製品の返品・交換等につきましてはお受け出来ません。また、お客様の注文間違いによる製品の返品・交換等は、商品到着後1週間以内とさせていただきますので予めご了承ください。※カスタムオーダー、特注パーツ、受注生産品などは、装着前であっても返品や交換等をお受け出来ません。
- 梱包や運送の過程で本製品に使われている素材にシワができることがあります。正常に取り付けを行っていただくことで生地がなじみ、シワはある程度解消できますが、まれに跡が残る場合がありますので予めご了承ください。シワが気になる場合は、装着前にお買い上げいただいた販売店、または弊社までご連絡ください。
- 本製品は純正シートの機能（チャイルドシート固定フックやバックテーブル等）を損なわないように設計しております。（一部例外はあります）その為、背もたれや座面に穴開け加工をしているタイプのシートカバーがあります。
- 注文したものと違う商品が届いたり、製造上の不良または運送中に生じた内容物の破損がありましたら、ご購入された販売店までご連絡ください。商品交換もしくは修理対応させていただきます。  
※交換対応商品が在庫切れの場合は多少お時間をいただく場合があります。予めご了承ください。
- 内容物に影響がない外装箱の破損、商品の細かい傷、シワ等は初期不良の対象外とさせていただきます。また装着後の商品は仕様違い及び初期不良を除き、返品・交換等致しませんので装着前に必ず確認等してください。また、装着時に加工等された商品に関しましても返品・交換等は致しませんので予めご了承ください。
- 座席への密着度が非常に高い設計となっている為、シートカバーの使用期間中に座席本体にダメージを与える場合があります。この点をご理解の上、ご使用ください。  
なお、シートカバー装着に起因するダメージに対する補償は致しませんので、予めご了承ください。  
例）座席本体に生じた傷、破れ、摩擦痕、シワ、ヘコミ、変形、変色、化学変化等

## 本製品に関する注意事項

- 本革やジーンズ等の染料を使用している素材や、新聞紙等の印刷物を長時間接触させると、本製品に色移りや本革等に粘着が生じることがあります。また衣類製品側にも色移りが生じる場合があります。
- 本製品を直射日光に長時間当てると、生地が表面が変化・変形・変色の原因となります。また、高温多湿の環境下では生地が硬化や収縮、カビが発生することがあります。
- 本製品は石油を原材料として使用しているため、臭いがかつく残る場合があります。装着されてから約1〜2週間で臭いは緩和されますが、気になる場合は本製品を換気の良い所に1週間程保管されてから装着してください。また本製品は塩化ビニールレザーを使用しています。燃焼時には塩化水素が発生します。廃棄される場合は個人で焼却せずに必ず自治体の処理方法に従ってください。

## シートカバー装着時の注意事項

- 弊社のシートカバーはフィッティングを重視して設計しています。カバー全体に均一に力をかけるようにして、装着してください。またシートカバーを固定するパーツは強く引っ張りすぎると抜けたり切れる恐れがありますので、ご注意ください。
- ヘッドレストやアームレストといった小物類は、普通のシートに比べてカバーに負荷が掛かりやすくなっている為、カバーが破れないように慎重に作業を行ってください。
- シートカバーの背もたれ上部に加工しているヘッドレストの穴は、生地の種類によっては伸びにくいものもあるため、無理に入れ込もうとすると破れる恐れがあります。
- 取付説明書の順番通りにシートカバーを装着していただくと、作業がスムーズに進みますので、弊社では順番通りの装着をお勧めしています。またシートカバーの装着は明るく、地面が平らなスペースで行ってください。装着時に長時間車内のライト類を点灯状態（扉を開放されたまま等）にされるとバッテリーがあがったり弱まる原因となります。
- 製品の改良等により、本取付説明書の記載内容と一部製品の仕様が異なる場合があります。その際はご迷惑をおかけしますが弊社までお問い合わせください。
- 弊社のシートカバーは純正シートの機能を損なわないように設計していますが、シートカバーを装着することにより、シートにカバーの厚みが増す、カバー同士の摩擦が生じる等の原因で、シートの正常な動作を妨げる場合があります。
- 装着時（シート本体のパーツを取り外す場合等）及び、使用時に起きた車輛への損傷、車輛の不具合人体への怪我（シートカバー装着時に、シート本体の金属部分やプラスチック部分に接触する等して怪我をする恐れがあります）について、弊社では一切責任を負えませんので、十分に安全に注意し、装着を行ってください。

またいかなる場合でも商品代金と送料の合計金額を保証の上限とし、それ以外の保証は出来ませんので、予めご了承ください。購入に付随する、商品の交換、装着、取り外し等の工賃、装着等の不具合による工賃等の費用負担、交通費、遺失利益などの直接、間接の損害につきましても一切の責任を負いませんことをご理解ください。

「快適空間創造企業」



株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

**TEL 072-330-8000**

## ⚠ 警告 サイドエアバッグについて

■SRSサイドエアバッグ装備車にシートカバーを装着される場合、正しい適合に合ったシートカバーを正しく装着出来ていないと、衝突時などにサイドエアバッグが正常に作動せず、重大な傷害を負うか、最悪の場合死亡につながる恐れがあり危険です。

※サイドエアバッグの対応基準は、正式な安全基準が無いため（※2024年3月現在）弊社独自の安全基準を設けております。

本製品は1列目背もたれの両横部分とSRSサイドエアバッグ展開部分に、SRSサイドエアバッグに対応した縫製系を使用しています。（SRSサイドエアバッグの有無に関わらず全製品）

その部分は他の部位に比べて縫製系が切れやすくなっています。装着時には過度の力がかからないようご注意ください。

## ⚠ 注意 ⚠

サイドエアバッグが装備されているシートでは、シートカバーの装着が正確にできていないと、サイドエアバッグが開かない可能性があり、危険です。シートカバーの装着は説明通り、正確に行ってください。

ここからはサイドエアバッグ装備車にシートカバーを取り付ける際、注意する点を説明しています。



1 SRSサイドエアバッグ展開部分は、シートの表面と側面の境界線に位置し、図の縫い目に配置されます。



3 サイドエアバッグの展開部分と、シートカバーのSRSサイドエアバッグに対応した縫製系を使用している縫い目の位置（以降SAB対応の縫い目部分）を合わせます。  
※シートのサイドエアバッグ展開部分にはシートカバーの縫い目が必ず存在します。その縫い目はSRSサイドエアバッグに対応した縫製系を使用しています。



2 シートを上から見た状態です。通常、サイドエアバッグ展開部分はシート表面と側面の境界に位置し、一般的には角ばった形状をしています。サイドエアバッグ展開部分はその角の頂点に位置します。





- 5 4番の図を拡大したものです。シートのサイドエアバッグ展開部分と、シートカバーのSAB対応の縫い目部分を合わせてください。



- 6 シートカバーをシート全体に取り付ける際は、5番の位置がずれないように、カバーをシート全体にかぶせます。



- 7 説明書に従って、シートカバーを正しく取り付けます。サイドエアバッグ展開部分とSAB対応の縫い目部分が合っているか確認します。



- 8 まず、シートの表面の中央と端の境目になる縫い目を指で押して、シートのくぼみにカバーの縫い目がしっかりと合っているかを確認します。



- 9 次に、シートカバーの表面側と側面側の生地を図のように引き伸ばし、カバーのSAB対応の縫い目部分が、サイドエアバッグの展開位置となる角ばった形状（2番参照）の角に位置することを確認します。この位置が合っていれば、シートカバーは正しい位置に装着されています。SAB対応の縫い目部分が側面側にずれていたりすると、サイドエアバッグの展開部分と位置がずれていることとなります。位置が合っていない場合はカバーの装着をやり直してください。



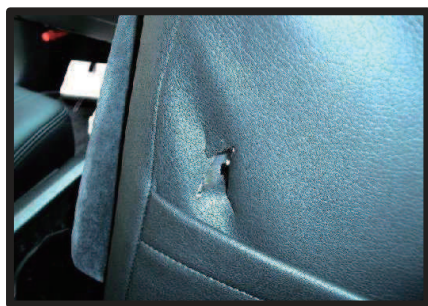
- 10 正しくシートカバーを取り付けることで、サイドエアバッグがシートカバーから正常に展開します。

# コンビニフックについて

一部車種の1列目背面にあるフック部分は穴あけ加工がされておりません。フックがネジで固定されている場合、カバーを加工すれば使用することが可能です。



- ①ネジを外します。ツメで固定されている場合がありますので、取り外しには十分ご注意ください。ツメが破損すると元通りに取り付けられなくなる場合もあります。



- ②背もたれカバーを取り付けます。シート本体とカバーがずれていないかをよく確認した上で、フックの位置に切り込みをいれます。



- ③切り込み部分にフックを取り付けて完成です。

# 1 列目座面



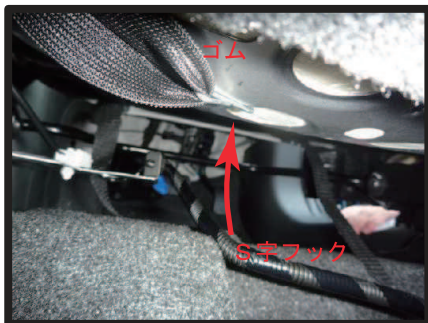
①カバーを裏返してシートのラインに合わせます。



④シート付け根にゴムの付いた生地をシートとプラスチック部の隙間に、ゴムと一緒に入れ込みます。



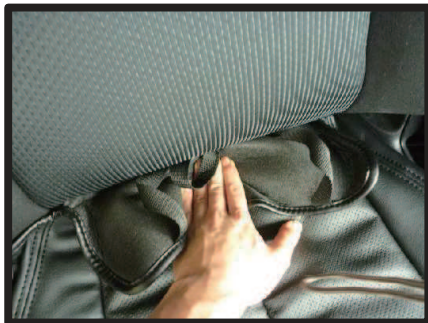
②シートのラインからずれないようにカバーをシート全体にかぶせます。



⑤生地と共に入れ込んだゴムを、シート裏側から引き出し、写真のようにシート裏に引っ掛けて固定します。



③シート付け根にあるゴムの先に付属のS字フックを結んでおきます。



⑥背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。背もたれの角度を調整して入れ込みやすい位置で行って下さい。



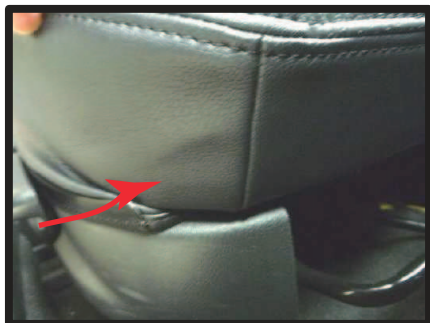


⑦入れ込んだ生地をシートの背面から引き出します。

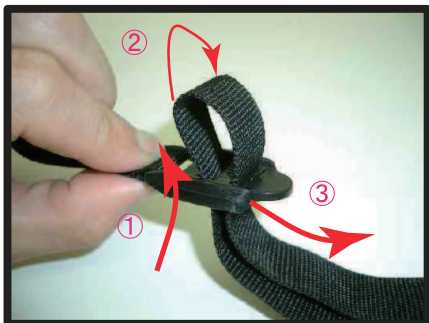


⑩⑦で入れ込んだ生地についているベルトをシート裏を通して前側から取り出し、バックルに通します。

\*ベルトが配線やスライドレールに干渉しないように注意します。



⑧カバー側面に付いている板状のプラスチックをシートとプラスチック部の隙間に入れ込みます。ヘラ等を使用して、矢印の方向へ入れ込みます。



⑪ベルトは①→②→③の手順で、まずバックル中央に通し、折り返してバックルの端に通します。通したベルトを引くとカバーの前後を引き絞り固定されます。



⑨前から後へ順に板状のプラスチックを入れ込んでいきます。反対側も同様に入れ込みます。



⑫カバーのラインを整えて1列目運転席側座面の完成です。助手席側も同様に取り付けます。

# 1 列目背もたれ

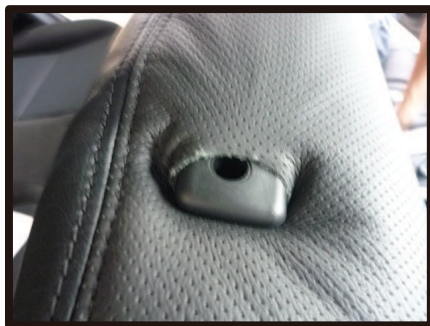


注意

サイドエアバッグ装着車の装着方法は、表紙から4枚目と5枚目の『警告：サイドエアバッグについて』と『注意』の装着説明を併せて確認し、正確にシートカバーを取り付けてください。



①カバーを半分ほど裏返した状態でシートのラインに合わせて、シートの肩口までしっかりとかぶせます。



④ひとつひとつ角を取り出すようにして台座全体を取り出します。



②シートのラインからずれないようにカバーをシート全体にかぶせます。



⑤背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。  
背もたれの角度を調節して入れ込みやすい角度で行なって下さい。



③ヘッドレストの台座をカバーの加工穴から取り出します。台座の片側のフチに生地をしっかりと入れ込みます。



⑥入れ込んだ生地をシートの背面から引き出します。



⑦①→②→③の手順で背もたれ側面の生地をシートに馴染ませていきます。側面のシワが消えるまで繰り返して下さい。（写真は別車種）



⑩カバー背面下に付いているゴムをS字フックを使用してシート裏に引っ掛けて固定します。



⑧3ページの⑥で引き出した生地とカバー背面下の生地をマジックテープで固定します。

### ⚠ 注意 ⚠

サイドエアバッグが装備されているシートでは、こちらの固定が正確にできていないと、サイドエアバッグが開かない可能性があります、危険です。



⑪サイドエアバッグ装備車は、サイドエアバッグの展開部分とシートカバーのSAB対応の縫い目部分が合っていることを確認して下さい。カバーのラインを整えて1列目運転席側背もたれの完成です。助手席側も同様に取り付けます。

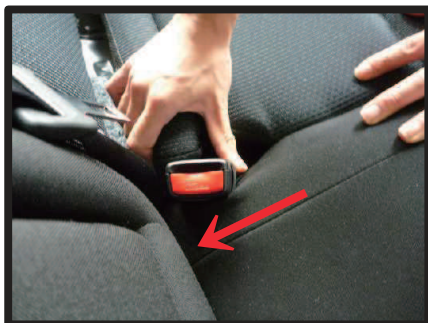


⑨1列目スポーツシート用のカバーには○部分にマジックテープの付いた生地がありますので矢印の方向へ折り返すようにしてシートに直接固定します。

## 2列目座面



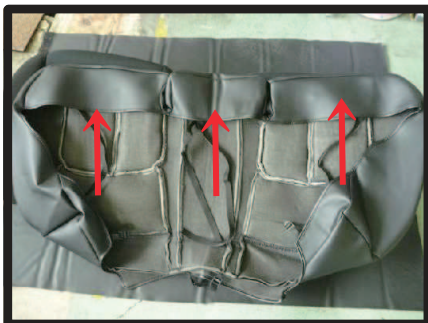
①カバーを取り付ける為に、まずシートを取り外します。シートは写真の矢印位置のシート裏にフックで2カ所固定されています。フックの位置あたりを意識して、シートを持ち上げると、フックが外れます。



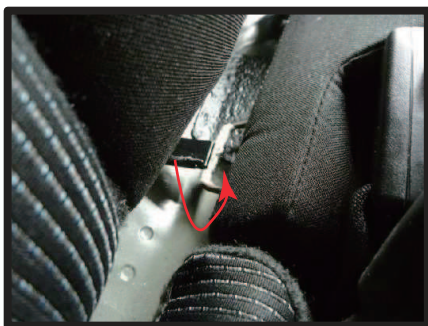
④シートベルトバックルを矢印の方向へ移動させて、座面から外します。



②シートには③のような金具がありますのでシートを矢印の方向へ引きながら外します。



⑤写真の矢印部分の3カ所をシートに合わせ、座面の後部にかぶせます。



③この金具は矢印の方向へ動かす事で外せます。



⑥奥までしっかりかぶせていきます。



⑦中央には金具がありますのでカバーの加工穴から取り出します。



⑩シートを裏返して4本のベルトをバックルに通し、固定します。



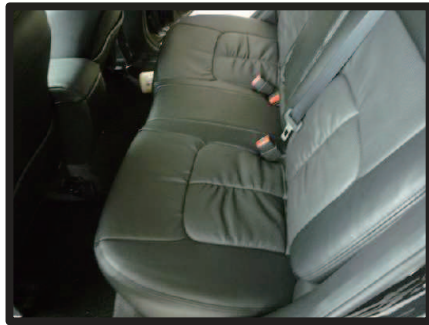
⑧シートのラインがずれないようにカバーをかぶせていきます。



⑪シートを表側に向け、シートベルトの収まる部分の生地を入れ込み、形を整えます。



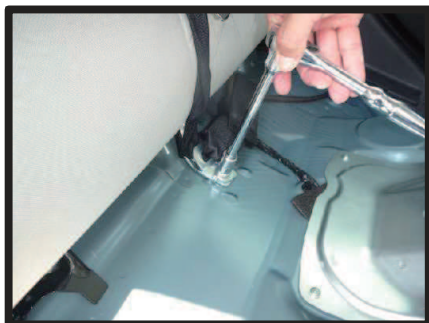
⑨角を整えて、全体を馴染ませるようにシワを伸ばします。



⑫カバーのラインを整えて2列目座面の完成です。

\*座面は背もたれのカバーを取り付けてから元に戻します。

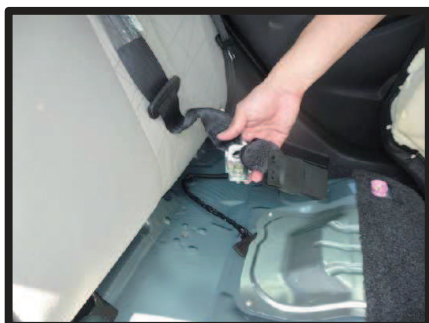
## 2列目背もたれ



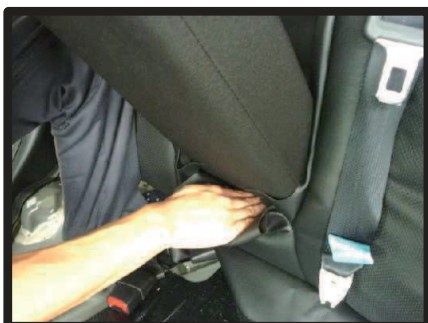
① 2列目中央の車体に固定されているシートベルトとシートベルトバックルをラチェットレンチ等を使用して外します。



④ カバーを半分ほど裏返して、シートのラインに合わせてかぶせます。



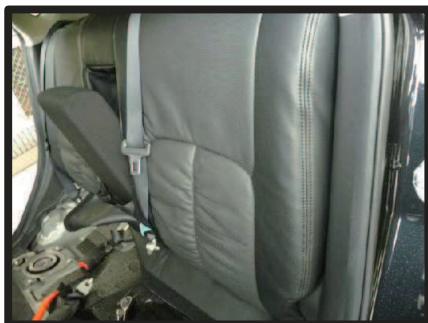
② シートベルトとシートベルトバックルを車体から外した写真です。



⑤ 少しずつ引き下げながら中央アームレストを加工穴から引き出します。



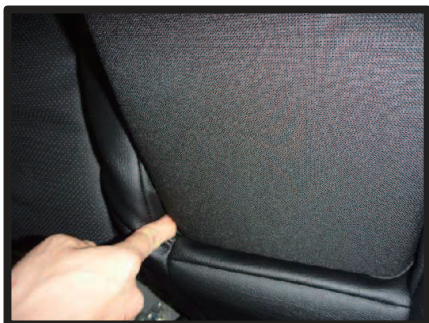
③ 外したシートベルトとシートベルトバックルをカバーの加工穴に通して取り出します。



⑥ シートのラインがずれないようにカバーをシート全体にかぶせます。



- ⑦ 2列目中央のシートベルトの台座のネジをゆるめ、生地を入れ込みます。1列目と同様にヘッドレストの台座も取り出します。



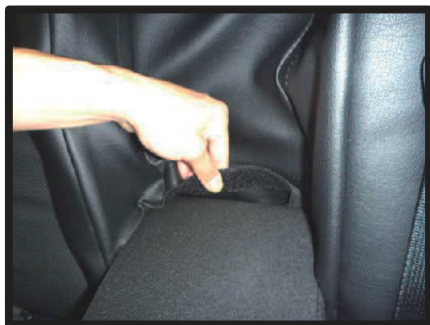
- ⑩ アームレストの周りのカバーの生地を入れ込みます。



- ⑧ シートの肩口にあるリクライニングボタンのプラスチック部分にシートの生地を入れ込みます。



- ⑪ カバーの前側の生地を押えながらシートを矢印の方向へ倒します。



- ⑨ アームレストの後ろ側からカバーの前側の生地を引き出します。  
\* アームレストを動かしながら引き出すと作業がしやすくなります。



- ⑫ シートの背面から⑪で抑えていた生地を引き出します。  
\* ラゲッジルームの下にある収納部を後ろ側にずらすことで作業がしやすくなります。



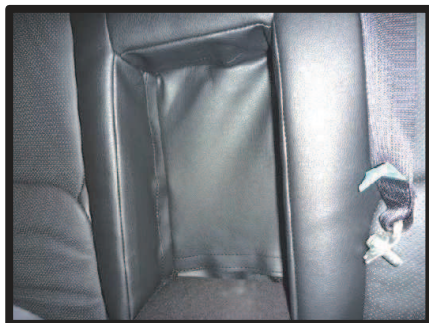
⑬ 8ページの⑫で引き出した生地と背面の生地下部をマジックテープで固定します。



⑭ シート背面のチャイルドシート固定部のフチに生地を入れ込みます。



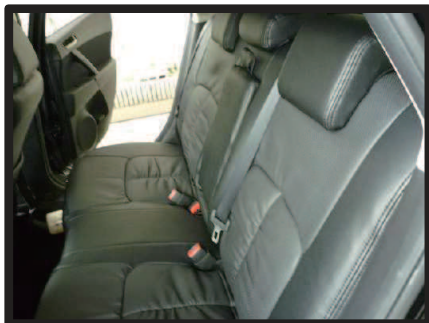
⑮ カバーの端までマジックテープを固定します。



⑯ アームレストの収納部にカバーの生地を合わせてシートに直接マジックテープで貼り付けて固定します。



⑰ シートをロックする部分にカバーの加工穴を合わせます。穴位置がずれないようにロックする部分のフチにカバーのマジックテープを直接シートに貼り付けて固定します。



⑱ カバーのラインを整えて2列目助手席側背もたれの完成です。運転席側は一部形状が異なりますが同様に取り付けます。



# 1列目アームレスト（ノーマルシート用）

\* フタには手をはさまないようにご注意ください



① 1列目アームレストのフタを開き、フタを立てた状態でアームレストの先端にカバーを引っ掛けます。



④ カバーのラインを整えて1列目アームレストの完成です。



② 生地の伸びを利用して、後ろ側の生地を引っ掛けます。



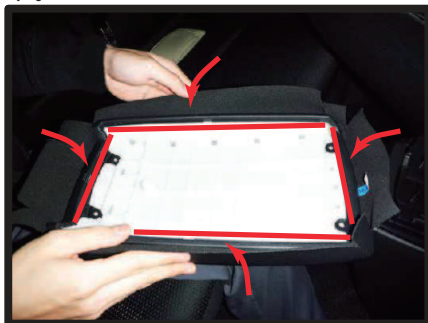
③ 左右の側面に付いているマジックテープを固定します。

# 1列目アームレスト（スポーツシート用）

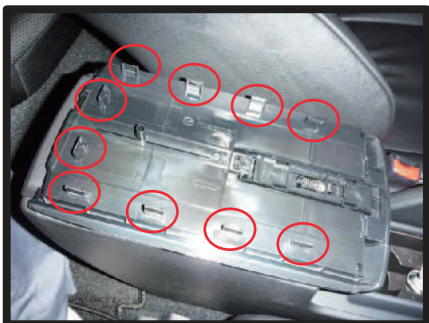
※アームレストのフタを取り外す必要があります。



①②の図を参考にしてツメの位置を確認しながら、ツメをひとつずつ外す様に、○で示した隙間にヘラ等を差し込み、矢印の方向へ慎重に動かして、アームレストの上面を取り外します。



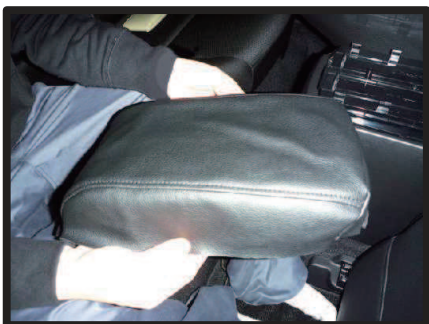
④カバーを矢印の方向へ織り込みます。  
※図の赤線部分に両面テープ等を貼り、生地を固定すると作業がしやすくなります。



②図の○で示した位置に10個のツメで固定されています。

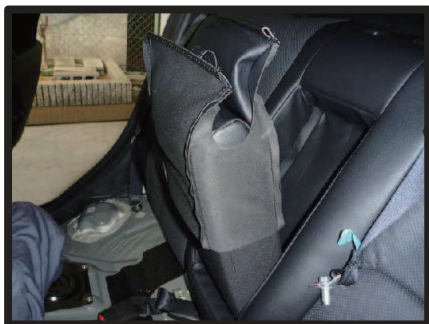


⑤ツメの位置を合わせてゆっくと台座にはめ込み、1列目アームレストの完成です。



③取り外したフタにカバーをかぶせます。

## 2列目アームレスト



①カバーを半分ほど裏返した状態で、アームレストの先端までかぶせます。



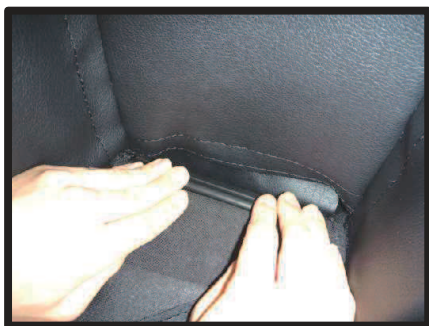
④フック状になっているプラスチックに板状のプラスチックを、生地と共に折り返して挟み込み固定します。



②フック状のプラスチックが付いている部分の生地をアームレストと背もたれの間に入れ込みます。



⑤ドリンクホルダーとアームレストの間に生地を入れ込みます。



③②で入れ込んだ生地に付いているフック状のプラスチックと板状のプラスチックを固定します。

詳しい取り付け方は④で説明します。

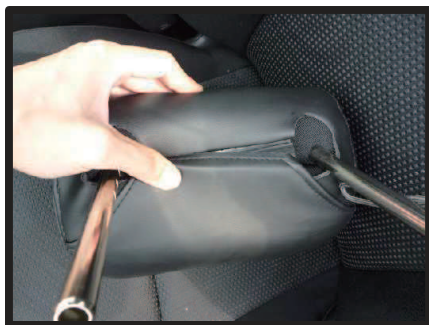


⑥カバーのラインを整えて2列目アームレストの完成です。

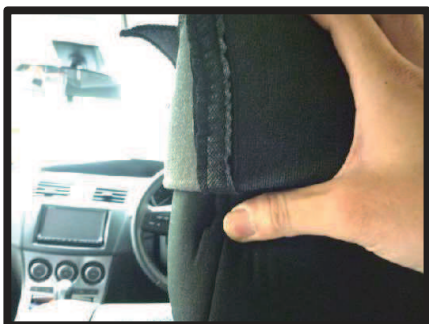
# 1 列目ヘッドレスト



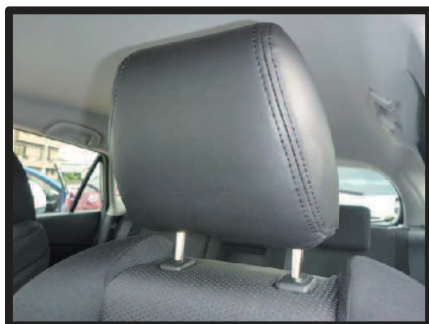
①カバーを半分ほど裏返した状態でヘッドレストの先端までかぶせます。



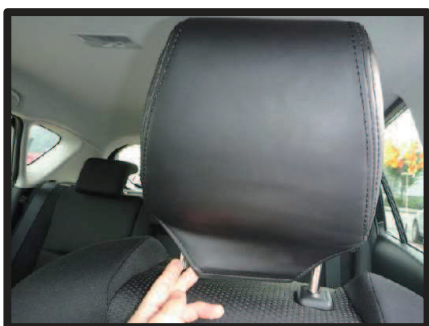
④ヘッドレストをシートから取り外し、底面のフックを固定します。  
(12ページ④参照)



②左右交互に少しずつカバーを引き下げていきます。ヘッドレスト本体を入れ込むように押さえるのがコツです。

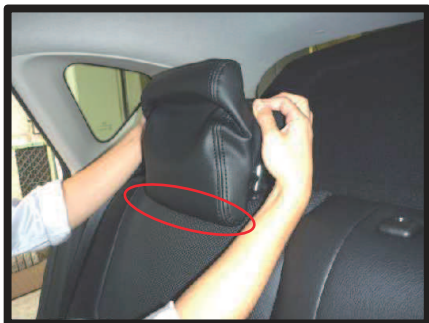


⑤カバーのラインを整えて1列目ヘッドレストの完成です。

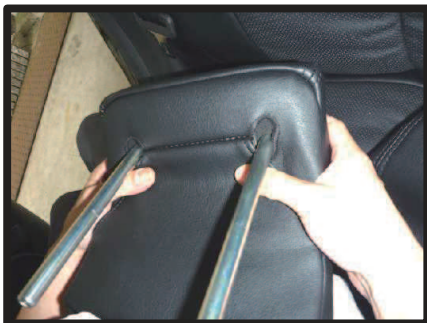


③ヘッドレスト全体にかぶさるように下まで引き下げます。

## 2列目ヘッドレスト



①写真の○部分のヘッドレストの角にカバーの先端を引っ掛けます。



④フックを固定するとヘッドレストの底面は写真のようになります。



②カバーを矢印の方向へゆっくりとかぶせていきます。



⑤カバーのラインを整えて2列目ヘッドレストの完成です。  
2列目中央のヘッドレストも同様に取り付けます。

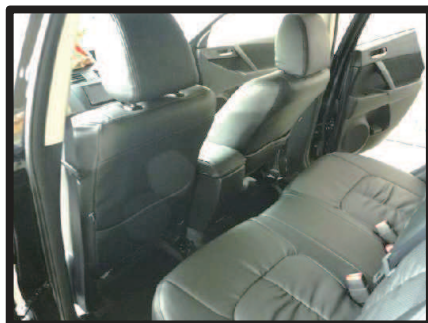


③底面のフックを固定します。  
(12ページ④参照)

# 完成図



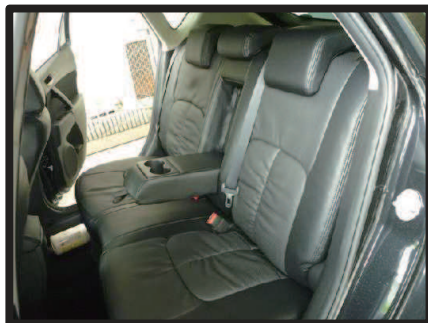
1 列目①



1 列目②



2 列目①



2 列目②

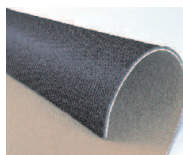


## After Service

皆様の快適カーライフのために、安心できるアフターサービス

### ● 保証・単品パーツ販売・生地の販売

- 1 保証期間であれば、故意でない通常使用における糸切れや生地の破れが生じた場合、無償修理させていただきます。  
※一部商品は対象外です。



- 2 シートカバーの補修及び単品パーツの販売をしています。

- 3 シートカバーと同色のソフトBioPVCレザーの販売をしています。  
(巾135cm・メートル単位での販売となります)  
キルティング仕様の生地は対象外です。



パーツ交換の際、お客様の装着期間や生地の生産時期によって若干の色の違いが見られることがありますので、予めご了承ください。

ご注文・お問合せは

株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

**TEL 072-330-8000**

## …> 生地別メンテナンス方法

### ウルトラスエード

#### ●ほこりや毛羽などの付着汚れ

エチケットブラシで軽くブラッシングして取り除いてください。

#### ●全体の汚れが気になる場合

40度程度のぬるま湯に染みこませ固く絞った布で全体を拭いてください。乾いたらエチケットブラシで毛並みを整えるようにブラッシングしてください。

この作業は月一回くらいの頻度で行うと効果的です。



### 本革

普段は柔らかい布でやさしく拭き掃除をしてください。または、市販されている本革クリーナーをご使用ください。クリーナーは直接吹き付けるのではなく、やわらかい布などにつけてからご使用ください（クリーナーの説明書に従ってください）。また、使う前に必ず目立たない部分で試し拭きをしてください。万が一変色したり風合いが変わってしまったりした場合、元には戻りません。

#### ⚠️ ご注意

本革は非常にデリケートな素材です。熱や水に弱く、シミができたり変色してしまったりします。水やジュースなどをこぼした場合はすぐに拭き取り、お手入れを行って下さい。長時間放置しておくとも汚れやシミが取れなくなります。表面に積もったほこりは汚れの原因になる為、掃除機でこまめに吸い取って下さい。



### PVCレザー

柔らかい布で乾拭きをしてください。それでも汚れが取れない場合は水、もしくはぬるま湯で薄めた中性洗剤で拭き取り、水拭きをしてから乾いた布で乾拭きして下さい。



### ファブリック

#### ●ほこりや毛羽などの付着汚れ

ブラシ等で軽くブラッシングして取り除いてください。

#### ●シミ汚れ

ぬるま湯を入れた容器の中に中性洗剤を数滴入れ、その中に布を浸したら固く絞って汚れ部分をたたくように掃除します。洗剤を入れすぎると泡立ちすぎるので、適度な量にしてください。掃除をした後は、洗剤が残らないようにしっかりと水拭きします。また、水分が残ったまま放置すると汚れやカビの原因となります。しっかりと乾燥させてください。

※テニム生地の場合は、拭きすぎると色落ちの原因となります。一度色が落ちると元には戻りません。また、メンテナンス時に発生したダメージに対する補償は致しませんので、予めご了承ください。

